

『ルカ 73 — 人のうわさからでも』

武田真治 牧師

エレミヤ書 51:46 ルカ福音書 9:7~9

今日の聖書の箇所、9章7節は「ところで、領主ヘロデは、これらの出来事をすべて聞いて戸惑った。」と始まります。この「ヘロデ」とは、イエス様がお生まれになったときにベツレヘムの町の2歳以下の子供たちを皆殺しにしたヘロデ王の息子、ヘロデ・アンティパスという人物です。この時、ガリラヤとベレヤの地域の支配をローマ帝国から任されていた人物でした。このヘロデ・アンティパスは、彼の実の兄でユダヤの地域を治めていたアルケラオが民衆によって謀反を企てられ、ローマ帝国から統治するだけの力量がないと判断されて、その地域の領主から外されてしまったことに学び、自分は任されているガリラヤとベレヤの住民たちをうまく治めて、長く領主の座に座ろうともしていました。

故に、民衆の声や状況を把握することにも注視していたのでした。そのような彼の耳に入って来たのが、最近、頭角を現して来た“ナザレ出身のイエス”に対する「うわさ」であったのです。即ち「イエスについて、『ヨハネが死者の中から生き返ったのだ』と言う人もいれば、『エリヤが現れたのだ』と言う人もいて、更に、『だれか昔の預言者が生き返ったのだ』と言う人もいたからである。」と。ヘロデが民衆の評判をととも気にしていた様子がよく分かります。そして、イエスという人物が、自分の支配にとって有用ならば用いるが、邪魔になるようなら早いうちに始末しなければと考えていたからでしょう。実際、彼は「ヘロデは言った、『ヨハネなら、わたしが首をはねた。いったい、何者だろう。耳に入ってくるこんなうわさの主は。』」と、洗礼者ヨハネに対しては自分の邪魔をする者として殺してしまっていました。民衆をうまく牛耳るためには、文句を言う者には厳しい態度で臨むというのも常道でしたから。ただ、イエス様は色々な見方がなされ、ヨハネとは異なり、病を癒したり、奇跡を行う者でもあったので、興味を掻き立てられたのでしょう。「そして、イエスに会ってみたいと思った。」と今日の箇所にもあります。“うわさ”からでもイエス様を知り、出会う(神様が備えられた)チャンスだったのでは？

ただ、彼はそれ以上、実際に出向いて行ったり、自分の元にイエス様を呼び寄せたりはしませんでした。

ところがイエス様に遭える絶好のチャンスが訪れました。それがこの後の23章6節以下です。「これを聞いたピラトは、この人はガリラヤ人かと尋ね、ヘロデの支配下にあることを知ると、イエスをヘロデのもとに送った。ヘロデも当時、エルサレムに滞在していたのである。」です。これは神様がもう一度、与えられたチャンスでもあったと言い得ます。彼がイエス様にちゃんと向き合えば“救い”へ導こうと！こんな人物にでも神様は“招きを与えておられる”のです！

ところが、彼は「祭司長たちと律法学者たちはそこにいて、イエスを激しく訴えた」その声を聴き、結局「ヘロデも兵士たちと一緒にイエスをあざけり、侮辱し、ピラトに送り返した」のでした。周りの人々の批判や評判の声に引きずられ、神様の用意された機会を逃してしまったのです。神様からの御導きをちゃんと受け止められる者でありたい！

\*\*\*\*\*

【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 4月22日(水) 20:00  
II. 4月23日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記  
祈祷主題: 教会総会を覚えて  
担当者: (水) AK (木) SH  
祈りに覚える人 KAさん KTさん

\*ハンナの会 4月21日(火) 10:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男17 女52 計69  
祈祷会 I. 男1 女1 計2 II. 男1 女6 計7  
日曜学校 幼稚科5 小中科13 計18

【次週礼拝】

4月26日(日)  
聖書: 詩編60:1~14  
テモテへの手紙 I、1:15

説教: 「詩編60—人間の与える救いは空しい」  
武田真治 牧師

讚美歌: 141(1)、32、327、561(1~3)、  
441、88(1)

【次週当番表】

司式: KY 長老 奏楽: KH 礼拝: IK 長老  
献金: KT KH 受付: KH ST  
会堂準備: OK KH KA TN  
NE

看板: NY 週報: IT お花: IY

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム  
礼拝後: ・教会総会

# 週報

2025年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

2026年 4月 19日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33  
TEL&FAX 048-771-6549